



平成 26 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光
代表者名 代表取締役社長 前田 佳央
(JASDAQ・コード：8256)
問合せ先 取締役管理本部長 安田 康一
(TEL 06-6262-0303)

事業構造改革の実施及び固定資産の譲渡の方針決定に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 18 日開催の取締役会において、下記のとおり事業構造改革の実施及びそれに伴い固定資産を譲渡する方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業構造改革の実施理由

当社グループは、持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現すべく、「価値主義への企業変革」を基本方針として、①収益力拡大 ②コスト変革 ③グループシナジー創出のテーマを主軸に各施策を推し進めております。しかしながら、当社グループの主力事業である前売卸事業を取り巻く環境は、ファストファッションなどの台頭によりマーケットが縮小傾向にあり、今後も厳しい状況が続くものと考えられます。

このような事業環境の中、当社グループは、低成長下においても利益を創出できる強固な経営基盤を構築し、将来に向けた持続的成長を目指すため、抜本的な事業構造改革の実施が不可欠であると判断いたしました。

2. 事業構造改革の概要

(1) 組織再編（前売卸部門の統合と新規事業部の設立）

前売卸事業各部門をホールセラー事業部として統合し、本店売場を再編成します。特に、次世代ミセスの提案フロアなど服飾雑貨を含めた婦人商品群を強化し、商品別の選択と集中により営業力強化、業務効率化を図ります。また、「新規事業部」を設立し、婦人商品に特化した製販一体の営業活動を展開することにより、専門店や通販等、新しいチャネルを含めた新規顧客開拓の強化を進めます。

(2) 本店売場の集約による空きフロアの外部賃貸と賃貸先との協業展開

本店売場再編により生じた空きフロアを外部賃貸し、賃料収入を得ます。賃貸先は、海外向け通販サイトの構築運営において定評のある企業であり、今後当社商品の海外販売等において、相互協力、協業展開を図ります。

(3) 子会社貿易業務の本社集約

組織再編に伴い、平成 26 年 6 月 20 日を目途に貿易子会社株式会社グローバルルートの機能を本社集約し、業務内製化を図ることで貿易経費の削減、粗利益改善を進めます。

(4) 東京店での前売卸事業からの撤退

前売卸事業の統合に伴い、平成 26 年 6 月 20 日付をもって東京店での前売卸事業から撤退し、本店への機能集約を進め、人件費及び施設費等の固定費圧縮を図ります。

なお、東京店での卸売事業における商談機能は引続き拠点として存続させます。

(5) 人員合理化

平成 26 年 3 月 11 日付け開示済の「希望退職者募集に関するお知らせ」のとおり、希望退職者の募集を実施いたしました。募集結果につきましては、本日当社が公表しました「希望退職者募集の結果に関するお知らせ」をご参照ください。また、上記の事業構造改革により人員の適正化を図り、経営資源の効率化を進めます。

(6) 固定資産の譲渡の方針決定

当社が千葉市に保有する固定資産（プロルート丸光マンション 帳簿価額 89 百万円）を譲渡する方針とし、その収入により有利子負債の圧縮を図ります。なお、譲渡先、譲渡価額については、今後協議を進めていく予定であります。

3. 業績への影響について

事業構造改革の実施に伴い、平成 26 年 3 月期決算において特別損失が発生する見込みではありますが、業績に与える影響は現在算定中であり、確定次第速やかに開示いたします。

以 上